

組合だより
JA **おからく**

'20 **11** 月号
vol.221

令和2年11月13日発行

発行：おかやま酪農業協同組合
責任者：笹野 英明
津山市川崎94-1
☎(0868)26-1101

令和元年度
「牛乳大好き！絵画コンクール」受賞作品



優秀賞 教育長賞 倉敷市立東陽中学校3年 藤山 健伸

—絵の説明— 牛乳はカルシウムが豊富なので丈夫な体をつくれるように、牛乳から人を飛び出させました。

上期実績の報告について

令和2年度は、おからく第6次3カ年計画の最終年度に当たる。また改正畜安法は3年目を迎え、一部の地域では混乱も生じ改正畜安法の問題点が浮き彫りとなった。今年度上期は、昨年度末から流行した新型コロナウイルス感染症の大流行により、世界的規模で経済に大きな影響を与え、酪農乳業でも3月初めからの自粛要請による学乳停止、インバウンド需要の落ち込みにより乳製品の在庫拡大につながりました。しかし、飲用需要は巣籠り需要により、堅調に推移し、生乳需給はひっ迫した状況となりました。現在でも、新型コロナウイルスに対するワクチン、治療薬は開発途上であり、終息の目途は立たず、引き続き感染防止対策が求められています。また、毎年発生する自然災害による酪農産業への災害と損失に対し、継続してリスク回避、減災への取り組みを進める必要があります。

本組合の生乳生産は大型農家の規模拡大と合わせ家族型農家の意欲もあり、上期6戸の廃業にも関わらず、生乳生産は前年比110.6%計画比106.2%で推移しています。今夏は記録的猛暑となり、多く

の廃用牛や病畜が発生し、生乳生産は大きく落ち込みましたが、9月上旬には回復基調となり、下期に向けて順調な生乳生産となっています。なお、昨年度末には、株式会社明治岡山工場が閉鎖され配乳が心配されましたが、中国生乳販連の努力により閉鎖の影響を最小限に抑え有利販売されています。

下期に向けて、さらなる乳質改善に取り組み今年度事業計画

○生乳生産量 92,000t

○購買取扱数量 66,700t

○流通取扱数量 8,850頭

の達成に向けて、組合員の皆様のご協力のもと役員一丸となり事業展開を進めて参ります。

以下に上期の事業実績の概要を報告いたします。

1. 販売事業

生乳取扱計画数量は、92,000tに対し、上期実績は49,256t（進捗率53.5%）となりました。

生乳販売高は、補給金を含め58億3,159万円でした。プール乳価は昨年同期と比較して0.56円/kg高となりました。年間利

令和2年度上期事業実績

(単位：円、※は税引前当期利益)

	収 益	費 用	利 益	損益年間計画	計画比(%)
販 売 事 業	565,825,385	358,599,866	207,225,519	366,398,000	56.6
購 買 事 業	1,948,431,738	1,908,141,486	40,290,252	92,100,000	43.7
乳 牛 流 通 事 業	1,126,468,076	1,108,373,003	18,095,073	31,052,000	58.3
育 成 牧 場 事 業	10,392,981	10,070,521	322,460	650,864	49.5
生 産 支 援 事 業	29,726,777	25,909,379	3,817,398	△ 2,930,000	130.3
農 地 供 給 事 業	428,836	405,459	23,377	39,577	59.1
酪 農 ヘ ル パ ー 事 業	47,592,350	43,799,648	3,792,702	1,992,000	190.4
改 良 登 録 事 業	3,766,573	2,636,124	1,130,449	3,000,000	37.7
凍 結 精 液 事 業	49,352,370	45,812,696	3,539,674	7,500,000	47.2
牛 群 検 定 事 業	17,837,730	17,107,936	729,794	3,981,600	18.3
診 療 事 業	80,336,059	61,062,946	19,273,113	29,200,000	66.0
受 精 卵 移 植 事 業	14,363,295	12,295,860	2,067,435	5,270,000	39.2
経 営 支 援 事 業	0	0	0	0	
事 業 管 理 費		248,422,965	△ 248,422,965	△ 509,679,400	48.7
そ の 他	28,739,098	9,526,325	19,212,773	20,732,000	92.7
合 計	3,923,261,268	3,852,164,214	※ 71,097,054	※ 49,306,641	144.2

益計画3億6,639万円に対し、2億722万円(計画比56・6%)となりました。

2. 購買事業

購買取扱計画数量は、66,700t、供給高38億750万円に対し、上期実績は数量で33,770t(計画比50・6%)、供給高で19億2,280万円(計画比50・5%)となりました。

利益は年間計画9,210万円に対し、4,029万円(計画比43・7%)となりました。さらなるご利用をお願いします。

3. 流通・育成牧場事業

流通取扱計画頭数は、8,850頭、金額で25億808万円に対し、頭数で4,683頭(計画比52・9%)、金額で11億1,927万円(計画比44・6%)となりました。年間利益計画3,105万円に対し、1,809万円(計画比58・3%)となりました。

育成牧場事業は、年間利益計画65万円に対し、32万円(計画比49・5%)となりました。

4. 生産支援事業

生産支援事業収入の主体は、戸数割・乳量割賦課金となります。これ

に営農改善事業、乳牛改良推進収入を含めた上期収入合計は、2,972万円(計画比27・7%)となりました。

費用としては、各活動組織への助成や負担金などの組織活動費が431万円(計画比41・6%)となりました。

営農改善事業費は、2,032万円、うち乳質改善費253万円、自家生産牛助成757万円、搾乳牛更新対策費366万円、ヘルパー事業対策費300万円などとなっています。

費用合計は、2,590万円(計画比23・5%)となり、上期の収支差額は381万円のプラスとなりました。

5. 農地供給事業

年間利益計画に対し、59・1%の進捗率となりました。

6. 酪農ヘルパー事業

利用組合員は171戸、総利用日数は2,333・5日で一戸平均13・6日の利用をいただきました。

専任ヘルパー職員は14名で、1名平均132・0日の出役日数となりました。臨時ヘルパー職員12名の出役日数は総利用日数の21・0%に当たる489日となりました。

上期収支は379万円のプラスとなりました。

7. 牛群検定事業

牛群検定は、月平均151・6戸(計画比51・1%)、検定頭数は、6,400・3頭(検定率52・1%)となりました。牛群検定事業の差引利益は72万円(計画比18・3%)となりました。

8. 改良登録事業

上期の血統登録件数は、一般、自動を合わせて830件、移動・DNA検査・再交付等は143件となり、上期の件数は973件(計画比44・2%)となりました。改良登録事業の差引利益は113万円(計画比37・7%)となりました。

9. 凍結精液事業

精液取扱本数は、13,339本(計画比59・3%)、そのうち乳牛選別精液1,529本を取り扱いました。凍結精液事業の差引利益は353万円(計画比47・2%)となりました。

10. 診療事業

診療件数は、3,910件(計画比71・1%)でした。差引利益は直売薬品の斡旋等を含め1,927万

円(計画比66・0%)となりました。

11. 受精卵移植事業

受精卵移植事業は、受精卵移植件数235件で、差引利益は受精卵販売等を含め206万円(計画比39・2%)となりました。

12. 経営支援事業

国の助成事業「中小酪農経営等生産基盤維持・強化対策事業」「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(機械導入事業)」「労働負担軽減事業」「生産基盤拡大加速化事業(乳用牛)」に取り組みました。

13. 経理

上期の貸出金残高は、証書貸出金他1億4,725万円で昨年度同期に比べ8,015万円減少となりました。

年間利益計画429万円に対し、差引利益13万円(計画比3・1%)となりました。

14. 事業管理費

本年度計画5億967万円に対し、2億4,842万円(計画比48・7%)となりました。人件費については、1億9,370万円(計画比51・1%)で推移しています。さらなる削減に努めてまいります。

令和2年度「牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会」開催

10月17日、「牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会（岡山県酪農乳業協会主催）」が、岡山市南区浦安本町（公財）岡山県学校給食会で行われました。

この料理コンクールは、牛乳・乳製品の消費拡大につなげるため、県下の高校生以上を対象に毎年開催しており、今大会が第41回目となります。応募作品数は641点（昨年度634点）でした。

応募の中から、9月25日の書類審



受賞者の皆さんと審査員の先生方

査で選考された10名が出席し、1時間の制限時間内で、牛乳・バター・生クリーム・スキムミルクを使い、工夫を凝らしたとても美味しいオリジナル料理を作っていました。

審査は、政本クッキングスクール校長 政本信昭先生、岡山県学校給食会 香山治美先生、岡山県栄養士会 坂本八千代先生、岡山県学校栄養士会 仲村みゆき先生の4名が味や普及性、独創性を基準に行いました。

厳選な審査の結果、最優秀賞には、岡山県立倉敷鷺羽高等学校2年井上由理さんの『パプリカとズッキーニが入ったサバのミルク味噌煮』、優秀賞は、岡山県立倉敷中央高等学校3年 大谷郁さんの『なんちゃって クリーミーエビフライ』が選ばれました。お二人は、11月14日の中国大会へ出場されます。

（事務局 生乳課）
「牛乳・乳製品利用料理コンクール 岡山県大会」受賞者

最優秀賞

・岡山県立倉敷鷺羽高等学校2年

井上 由理
パプリカとズッキーニが入った

サバのミルク味噌煮

優秀賞

・岡山県立倉敷中央高等学校3年

大谷 郁
なんちゃって
クリーミーエビフライ

優良賞

・岡山県立津山東高等学校3年

牧原直太朗
ミルクず豆腐の
トマトソースがけ

・岡山県立津山東高等学校2年

宮川 愛斗
すしあげのクリームコロッセ

・岡山県立倉敷中央高等学校3年

福井 美帆
れんこんたつぷり！
ピリ辛つくねのミルク煮

・岡山県立高梁高等学校2年

上山友貴美
ビックリまん

・岡山県立総社高等学校2年

相原 芽依
ほうれん草とかに入り
ミルクあんかけチャーハン

・岡山県立興陽高等学校3年

西森 麗乃
みるくきつね丼

・岡山県立瀬戸南高等学校2年

藤田 祐佳
ミルクあんパン
岡山県立岡山南高等学校2年
松本 知紗
ミルクチーズ入ったこやし



岡山県立倉敷中央高等学校3年 大谷 郁



岡山県立倉敷鷺羽高等学校2年 井上 由理

TURTLEコラム「哺育期の管理について」

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 中四国事務所 亀岡 祐斗

いつもお世話になっております。
長く辛い暑熱期も今や昔のこととなりました。しかしまだまだ分娩が多いなか、これからさらに気温が低下していくことを考えると不安も残るのではないのでしょうか。

今回は改めて、哺育期の管理について掲載させていただきたく思います。

◆出生時

①呼吸の管理

生まれた直後必ず行う必要があります。呼吸がない場合、胸部マッサージなどの蘇生法を試してください。

出生直後の状態スコアシート（酪農セミナー2019の付属資料）を参考にしてください。

②消毒

臍（へそ）とその周辺を7%のポピドンヨード（イソジン）で徹底的に消毒を行いましょう。細菌が臍帯部から体内に侵入すると疾病リスクが一気に高まるため、消毒は重要です。

③羊水の拭き取りと、体を乾かす

健康な状態で生まれてきた子牛でも出生直後に体温が1℃さがり、難産で生まれてきた子牛は体温が3℃以上さがる言われています。

（Davis and Drackley, 1998）羊水

で濡れている体では特に顕著で、特に寒冷期では子牛の生命に係わることも懸念されます。出生後は直ぐに清潔なバスタオルなどで羊水を拭き取り、体を乾かしましょう。また、拭き取る行為によってマッサージ効果による血流の向上や胎便排泄を促すことも期待できます。

④カーフハッチや子牛ペンへの移動

子牛は、免疫抗体を持たずに生まれてきます。そのため、母牛と同じ空間に長時間いることによって、雑菌に曝されてしまう確率が高くなってしまう。病原性の雑菌が腸内へ侵入することにより、初乳抗体の吸収効率が低下してしまうことも懸念されますので、上記の3つの作業が終了した時点で、清潔で乾燥したカーフハッチや子牛ペンに移す必要があります。

⑤初乳の給与

免疫抗体を持たずに生まれてくる子牛は、初乳から抗体（主にIgG）を吸収することが不可欠です。出生直後、子牛の小腸は抗体をそのままの形で（消化せずに）吸収する能力を持ち合わせています。しかし、吸収能力は時間が経つに従って低下していきます、生後24時間経過すると、そ

の能力は殆ど消失してしまいます。

新生子牛の免疫機能は初乳に含まれる免疫抗体に大きく依存しています。初乳計や糖度計を使用して初乳の質を確認し、免疫抗体を多く含んだ良質な初乳（初乳1ml当たり、IgG 50mg以上）を出生後できる限り早く十分量飲ませるようにしましょう。

初乳は子牛にとって必要不可欠なものである一方、病原菌類の感染源にもなり得ます。衛生的な環境での搾乳・保管やパステライザーの活用で、感染リスクを下げてください。もしも初乳の品質に問題がありそうな場合は、代用初乳を活用してください（全酪連では代用初乳粉末「グッドスタートプレミアム」を扱っております）。

離乳までの管理

①初乳からの移行

代用乳への移行は2日から3日かけて行いましょう。ミルクに含まれる脂肪や乳糖の急激な濃度変化は消化性の軟便や下痢を招く恐れもあります。初乳（または移行乳）と代用乳を混ぜ、徐々に割合を変えながら切り替えを行う方法が理想的です。

②水・スターター給与

水は常に新鮮な物を飲めるように

しておき、スターターは、生後3日目頃慣らし給与を開始しましょう。

哺乳期間中の子牛は、栄養の大半を代用乳（または全乳）に依存しています。給与開始後しばらくの間、採食量が少量でも心配はありません。スターターは、子牛の栄養源でもあります。第1胃内の微生物が増殖するための栄養源にもなりますので、給与は不可欠です。離乳移行期に差し掛かる頃からは、採食量がしっかりと上がっていることを確認してください。

水の給与は必要です。常に水を飲めることによって、安定したスターター採食量の上昇が期待できます。しかし、哺乳後30分は水の給与を控えてください。子牛はミルクを飲むと、第2胃溝（食道溝）を反射的に閉じ（食道溝反射）、ミルクが流入しないように第1胃へ蓋をします。

この食道溝反射は哺乳後約30分は継続していると言われています。そのため、哺乳直後に水を飲んでしまうと、第4胃内でミルクの濃度が変わってしまった、未消化のミルクが下部消化管へ押し流されてしまったりと、消化性の下痢を引き起こす要因になることが懸念されます。水は哺乳後最低30分置いてから給与するようにしましょう。また、与える水は冷たくすることでミルクとの差

別化を図りましょう。

③ 乾草給与

哺育期間中の子牛への乾草の給与は、栄養学上は必要ないとされています。乾草は、ルーメンの大きさと筋肉を発達させますが、栄養吸収に必要な絨毛の発達を促しません。また、限られたルーメンの大きさの中で必要な栄養を摂るためには、乾草ではエネルギーが不足します。

離乳時の管理

① 離乳時期（強化哺育®で管理される場合）

哺育40日齢以降の1日のスターター採食量が約300gから500gに達していることが、離乳移行に入る目安になります。離乳時には継続的にスターターを1kg/日以上採食できている必要があります。（哺乳量を朝晩2回ずつ制限して管理している場合は、3日連続でスターターを1kg以上食べられるようになることが離乳の目安となります）

ただ、スターターの採食量が上がったからといって、早期に離乳移行に入るのは好ましくありません。36日齢で離乳移行に入った子牛と、40日齢以降に離乳段階に入った子牛とでは、スターターの利用率に有意な差があったとの報告もありです。（Eckert et al. 2015）第1胃機能の発達には、1日約50g

のスターター摂取が必要とされています。（齋藤 2012）また、離乳後も哺育期間中と同等の日増体（DG）を維持するためには、代用乳の最大粉体給与量（強化哺育®の場合、1・2kg/日）の約1・8倍量のスターターを摂取する必要があると言われています。（全酪連 酪農セミナー 2017）

② 離乳方法

離乳移行期の急激な哺乳量の減少は、スターターの採食量が追い付かなかったり、極端な採食量の上昇によるルーメンアシドーシスや鼓腸症のリスクが増したりと、子牛は離乳ストレスを大きく受けてしまします。そのため、これらリスクを低減させるために、漸減離乳（段階的に哺乳量を減らしていく方法）が推奨されています。離乳移行期は最低でも2週間以上取ることが望ましく、この間にスターター採食量の上昇が思わしくない子牛は、哺乳期間の延長も検討してください。前記でもご説明しましたが、スターターのエネルギー利用率は、代用乳粉体の約60%から70%です。そのため、離乳時のスターター採食量が低い子牛は、離乳後の発育が鈍化してしまいます。

寒冷ストレス

寒さは子牛の天敵です。体の体積

（熱発生源）に対して体の表面積（放熱面積）が大きい若齢子牛は、环境温度が20℃以下になると基礎代謝を上げて体温を維持する必要があります。寒冷期に保温対策がしっかりとられていない場合、寒冷ストレスを受け、栄養失調による下痢や肺炎などの疾病が増えることが懸念されます。

☆ 寒冷ストレス下において、子牛が衰弱・死亡するまでの過程（例）☆

- ① 寒冷ストレスの下、エネルギーが不足し体脂肪を使い果たす
- ② 病気感染、発熱でエネルギーをさらに消費
- ③ 体蛋白（最後の栄養素）を分解しエネルギー源とする
- ④ 生命活動維持の難化

寒い季節も栄養の生体維持要求量を充足させながら、しっかりと発育させる必要があります。そのため、寒冷期は哺乳量を増やす必要があります。気温が10℃低下するごとに哺乳量（粉体量ではなく、溶解後のミルク）を10%増やして管理します。しかし、要求量は増えても一度に飲める量は限られています。多く飲ませるためには回数を増やす必要があります。手間が増えてしまいますので、ヒーターを使用したりジャケットを着せたりなどの保温対策を行ってください。

全酪連でも、子牛用ジャケット（モーベスト）などの寒冷対策製品を扱っておりますので、お近くの全酪連スタッフにお問い合わせください。

暖かく保ち、ミルクを

たくさん飲ませましょう！

最後に

ここまで読んでいただき、ありがとうございます。

最後に、子牛について補足事項をまとめさせていただきます。

子牛のデベソ

いわゆる子牛のデベソには、いくつかのリスクがあります。

1つは『臍帯炎』で、分娩時、あるいはその後には臍帯（おへそ）から細菌感染し、化膿、腫脹、悪臭を発します。

2つめは、『臍ヘルニア』で、臍輪（おへその穴）に腸や胃の周りの膜などが入り込むものです。先天的に臍輪の大きなものと、臍帯炎によつて拡張した2次的なものがあります。

これらの症状がみられましたら、場合によっては外科的治療が必要となります。早急に担当獣医師へ連絡してください。

初乳をのまない

難産で生まれてきた場合、子牛の吸飲力がなかったり、飲むのを嫌が

UNIVERSITY of GUELPH

全酪連・酪農セミナー

Boehringer Ingelheim

【追補資料】

ゲルフ大学：出生子牛の活力評価シート

日付

年

月

日

性別

♂

♀

子牛 ID

出生後経過時間

時間

記入者

分娩状況

☐ 補助無

☐ 立会い無

☐ 軽い牽引

☐ 強い牽引

☐ 帝王切開

外観

1 胎便の汚れ

正常：汚れ無し

正常：汚れ無し

中程度：体全体に汚れ

悪度：完全に汚れ

3

2

1

0

2 舌／頭

正常：（腫れ無し・舌出さず）

舌を出しているが腫れ無し

舌を出しているが腫れている

頭部と舌が腫れて舌を出している

3

2

1

0

起立までの様子

3 子牛の活動状況

以下の時間内に：0～30分起立と歩行

30分～1時間半起立しようとする

1時間半～3時間胸をつけた状態

3時間以降横臥、起立意思無し

3

2

1

0

一般的な反応（傾向）

4 指への吸引反応

強い

中程度

弱い

無反応

3

2

1

0

5 鼻腔にワラを入れた際の反応（身震い）

頭を振る元気良い

頭を振る

痙攣たじろぐ

反応しない

3

2

1

0

6 舌をつまむ

活発に舌を引っ込める

舌を引っ込めようとする

舌を痙攣させる

反応しない

3

2

1

0

7 眼に触った際の眼瞼反応

活発に瞬きし眼を閉じる

瞬きがゆっくり

反応しない

3

2

1

0

酸素状況（血色・酸素飽和度）

8 粘膜の色調（血色）

明るいピンク

薄いピンク

暗い紫色

白／青

3

2

1

0

バイタルサイン（心拍・呼吸など）

9 心拍数／分

90-160回（正常）

160回以上（速拍／異常）

90回以下（遅い／停止）

2

1

0

10 呼吸数／分（おおよそ）

40-70回（正常）

40回以下（遅い）

70回以上（速い）

2

1

0

●総活力スコア

1

3

5

7

9

11

13

15

17

19

21

23

25

27

17未満＝不良（赤）

20～25＝大変良い（青）

18～20＝普通（黄）

20～27＝素晴らしい（緑）

21～25＝良好（黄）

●鎮痛剤投与の有無

☐

Your Partner 全酪連

※本資料は著作権者の許可を得て作成しました 全酪連

*Copy rights from University of Guelph and Boehringer Ingelheim (Canada) Ltd.

場合があります。また、胃の中に羊水がたまっていることがあるので、強制的に飲ませて、抗体吸収の低下も懸念されます。このような場合、清潔な環境で子牛の体を拭くことによるマッサージ効果で胃腸の動きが活発化して貯留した羊水を拡散させ、また、呼吸と血液循環を促進させることが期待できます。飲みが悪くても根気強く数回に分けて、必要量は給与してください。どうしても飲まない場合は、食道カテーテル（ストマックチューブ）を使用し、強制的に給与する必要がありますが、誤って肺へ入れてしまわないように細心の注意を図ってください。



「牛乳の風味について」研修中

その後、交流会をスタート。久しぶりの集まりなので、近況報告などしました。

10月2日、「びほく地区女性部研修会・交流会」が行われました。

まず、北房はたる庵の密にならないように三方を開け放った部屋で、生乳課の松下調査役を講師として「牛乳の風味について」と題し、今年の4月から乳質の検査結果の数値にも含まれるようになり、近年注目されている『風味』について学びました。

の情報交換も話題が絶えず、笑い声の多い、楽しい時間となりました。

次に場所を移動し、秋晴れの空の下、ぶどう狩りを行いました。木に実っている紫や緑の美しいぶどうを一人何房も収穫させてもらい、皆さんとても喜ばれていました。

この度の研修会・交流会の開催にあたりまして、ご参加、ご協力いただきました全ての皆様、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。

（びほく事務所）



秋晴れの空の下、ぶどう狩り

びほく地区女性部研修会・交流会

検定員研修会の開催

10月5日、9日両日、「検定員研修会」を西大寺事務所と本所において開催しました。

今回は、中国生乳販売農業協同組合連合会機能整備推進室の今吉室長を講師としてお招きし、検定成績表の見方や注意点を教えていただきました。

(要点)

・繁殖情報
P 授精後70日間授精報告がないと自動的に受胎と判断されるた

め、妊娠鑑定後に入力。

N 空胎の場合入力。

C 繁殖に適さない牛に入力しないと平均値に影響。

・乳量

乳量計を垂直に保つよう気を付ける。

・サンプリング

サンプリングは充分(20kg未満10秒、20kg以上15秒)攪拌して採取する。乳脂肪率に影響。

・乳房炎

細菌を殺菌する白血球が血液から乳汁中に移動し、白血球の比率が高くなる。主に増加するのは好中球。

搾乳中に空気を吸ってしまうライナスリップによるドロップレックス現象に注意。

・除籍の理由

病名・分類ごとに並び替えて原因と対策を検討。

注意が必要な分類として低能力と乳用売却。

低能力とは、低乳量や性格(暴れる)なども含まれる。

長期未受胎で低乳量の場合は、低能力ではなく繁殖障害。

乳用売却とは、売却先での搾乳を希望するもので、肉転の場合

は、乳用売却にならない。肉転にした理由を除籍理由に、繁殖障害、乳器障害など。

・BHB(β ヒドロキシ酪酸)

臨床性ケトosis、潜在性ケトosisの指標。

0・13mmol以上は注意。

・FFA(遊離脂肪酸)

①誘導型 物理的衝撃(泡立ち、過攪拌) 頻搾乳

②自発型 飼料不足(栄養不足)

2・0以上は注意、風味(脂肪分解臭の原因となることもある)。

なお、BHB、FFAについては、

牛群検定速報で個体毎の数値をご確認の上、飼養管理の参考にしてください。

また、ミルクメーター洗浄時には必ずアルカリ洗剤と酸性洗剤の両方で順に洗浄していただくよう心掛けてください。

最後になりましたが、ご多忙中にも関わらず講師としてお越しいただいた今吉室長にお礼申し上げます。この研修会が今後の牛群検定の参考になることを期待しつつ、研修会の報告といたします。

(生産支援課)

乳和食料理講習会

10月5日、岡山県消費生活問題研究協議会津山支部(略 津山消協)の方の「乳和食料理講習会」が津山市川崎にある津山東公民館で行われました。

毎年依頼があり、津山地区酪農女性部の方と一緒に牛乳・乳製品を使った料理講習会を行っていましたが、今年はコロナ禍の影響により会場への入室人数が制限され、津山消協の方だけでの開催となりました。

あまり長い間調理室に人が集まるのはできないので、調理時間が短い



ポテトサラダ作成中



ものを紹介しました。牛乳を使うことにより栄養が補え、美味しく減塩ができることになると説明し、次の4品を調理しました。

- ①さんまとしょうがの牛乳ごはん
- ②お豆腐とチーズのねぎおかか和え
- ③ポテトサラダ
- ④減塩みそ汁

最初に乳和食の基本である「乳清」と「カッテージチーズ」を作っていました。

「牛乳が余ったときにカッテージチーズは作るけど、乳清は捨てていた。こんな使い方があったなんて知らなかった」と好評でした。

①は、さんまの蒲焼の缶詰を汁ごと入れ、「乳清」とお水でごはんを炊きトッピングに刻みねぎと「カッテージチーズ」をのせて出来上がりです。

②は、「カッテージチーズ」と木綿豆腐を少しのポン酢ししょうゆで味付けします。

③は、じゃがいもとにんじんを牛乳で水分がなくなるまで煮て、温かいうちにすし酢とスライスしたきゅうりを混ぜます(塩揉みはしない)。

④は、油揚げとオクラを使い、いつもの半分の味噌と同量の牛乳でミルク味噌を作り、鍋に入れて火を止めます。

短時間で完成した乳和食メニュー

今後、季節や参加者の年齢に合ったメニューで牛乳料理をPRし、牛乳の消費拡大を行っていきたいと思います。レシピー等は生乳課までお問い合わせください。

(生乳課)

酪農ヘルパーの仕事説明会

10月8日、中国四国酪農高等学校の1年生を対象に、「酪農ヘルパーの仕事」について説明会を行いました。

講師は、酪大を卒業し、現在専任ヘルパーとして活躍されている高田



酪農ヘルパーの仕事について話しをする高田さん(中央)と酪大生の皆さん

碧さんです。入学間もない1年生に酪農ヘルパーの仕事内容や労働環境、給料面などについて分かりやすく話をされました。

実際にヘルパーとして働いている自分の経験を交えながら、良い面(待遇!)や悪い面(通勤が遠いところがある!)も合わせて説明し、「将来就農を目指すにしても、実家の牧場を継承するにしても、ヘルパーという仕事で人のつながりを作り、いろいろな農家を見て勉強するのは良い経験になるのでぜひお勧めしたい。自分は就職先として酪農ヘルパーを選択したが、農家さんが大事な牛という財産を任せてくれ、『またお願いします』と言ってくれると、とても仕事にやりがいを感じる」と話しました。

学生からは、「農家さんにはどんな設備があるのか?」「学生時代にはどんな牧場で研修したのか?」など質問がありました。

数年前から酪農高等学校の学生を対象に説明会を開催していますが、実際に働いている先輩の話を聞くことで酪農ヘルパーに興味をもってもらい、採用につなげていきたいと思っています。

(生産支援課)

笑味ちゃん天気予報がやってきた!

(RSKテレビ) 月々金 18時50分より

10月12日の笑味ちゃん天気予報の担い手紹介コーナーで、勝央町の宮野晃好さんが紹介されました。

晃好さんは、幼い時から牛のそばで育ってきたので、後を継ぐと中国酪農農科大学に進まれました。また、奥さんの明恵さんも、高校生の時から、酪農の勉強をしてこられました。その頃から夢は酪農家のお嫁

以前は乳牛の飼育のみでしたが、お二人が加わったことで、乳牛の育成や和牛の飼育もされています。今年

さんになることと家族や友達に宣言していたそうです。お二人は中国酪農農科大学で出会い卒業後すぐに結婚され、現在4代目としてご夫婦で支えあつて頑張つておられます。

以前は乳牛の飼育のみでしたが、お二人が加わったことで、乳牛の育成や和牛の飼育もされています。今年



インタビューを受ける宮野さんご夫婦

年は受精卵移植にも成功し、2頭が元気よく育っていました。また、毎年共進会に出品されています。出品することで次の課題を見つけ、いい乳牛を育てるやりがいにもつながると話されます。今年はコロナの影響で相次いで共進会が中止になってしまいました。今年出す予定だった牛にブラッシングをしながら、このままの体格を維持し、来年出品したいと言われていました。

最後に「やっぱり、牛が健康で長生きしてくれるような牧場にしたいなあ」と話してくださいました。奥さんと時に意見がぶつかる

こともあるそうですが、目指すところは二人とも同じ。牛たちが過ごしやすい思いやりのある牧場経営を目指しています。これからもお二人仲良く頑張つて末永く続けていただきたいと思っています。

現在、番組のオープニングでは、笑味ちゃん天気予報のダンスを放映しています。現在は、JAの各支所職員や取材した方にも踊っていたいています。宮野さんご夫婦にも踊っていただき、その模様は13日に放送されました。おからも部署単位で踊りたいと思っています。今年

番組では、曜日によりテーマを決めて放送しています。

- ・月曜日 担い手・JA職員紹介
- ・火曜日 農畜産物の紹介
- ・水曜日 火曜日に紹介した農畜産物を使った料理の紹介
- ・木曜日 JA活動紹介
- ・金曜日 イベント紹介

18時50分からの放送になります。搾乳等お忙しい時間帯の放送になりますが、ご都合のつくときはぜひ観てください。また、取材にもご協力くださいますようお願いいたします。

(生乳課)

編集者の

つぶやき

ぽつかりと紙面が空いてしまいました。

またもや、「つぶやき」の出番となりました。また、お付き合いください。

早や、11月となりました。今年も残り2か月、ついこの間、「子年が良い1年でありますように」と、組合だよりに書いたと思ったのに、1年が早いのです。

2020年は、コロナ禍真っ只中。それでも世の中は、Go Toトラベル・Go Toイート・Go Toイベントと、日々、目まぐるしく進んでいます。そして、自然に目を向けると、実りの秋から、木々が紅葉し、きれいな景色で心を和ませてくれます。コロナ感染対策を気にかけない日々が訪れ、「あんな時があつたね」と、話せるように切に願っています。牛歩のごとく、一步一步、良い年へ向かって。

つい最近、通勤途中のカーラジオから流れるある銀行の頭取の方の言葉に感銘を受けました。「仕事に対し、揺るぎない信念としなやかな感性で、従業員一同、地域に貢献いたします」このような言葉でした。私も酪農協職員としてのゴールまで、そういう思いで仕事をしたいなと思うこの頃です。

(N)

ひろば

私の趣味

(南支所)

備南事務所

朝倉 正治

今回は、井原市の朝倉正治さんの趣味について、インタビュ形式でご紹介します。

Q…朝倉さんが今夢中になっている趣味を教えてください。

A…「車」です。

Q…車に夢中になったきっかけは？

A…速い乗り物に乗りたくて…。

元々はバイクでレースをしていたのですが、バイクの次に乗るなら、車だ!!と思っていたらハマっていました。

Q…今、乗っている車は何ですか？

A…R34 スカイラインGTRです。

他にもR32とR33(友人預かり)も所有しています。

Q…なぜこの車を選んだのですか？

A…見た目がカッコいいし、速く走れる車良かったので。(時速300kmも出るのだとか!)

Q…GTRではレースに参加しているのですか？

A…就農前はT1サーキット(現…岡山国際サーキット)の走行会などにもよく参加していました。

Q…GTRにまつわるエピソードを何か教えてくださいませんか？



ドを何か教えてくださいませんか？
A…私の自宅は真備町で、2年前の西日本豪雨で自宅が半壊する被害に逢いました。GTRは3台とも近くの車屋に預けていたのですが、その車屋も被災し、水浸しになっていました。しかし、その車屋のオーナーが、朝倉さんが大事にしている車だけは守らねば!!と移動してくれていたんです。それには本当に感動し、感謝しています。

これからも、この愛車を大切に、そしてそれ以上に家族を大切にし(笑)、日々の仕事に精進したいと思っています。

理事 会 報 告

令和2年9月30日、第237回理事会を理事11名、監事3名が出席し、開催した。

岡田組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和2年度生乳需給安定化対策

令和2年度8月の生乳需給安定化対策の状況等について報告した。

○出資減口の申し込みについて

酪農中止者による減資申し込みが2件あり、やむなく出資減口の申し込みを承認した。

○全戸巡回意見への回答について

8月に実施した全戸巡回での意見及び回答案について協議し、各部署の回答を承認した。なお、理事会への意見の回答案は来月の理事会へ提出することとした。

○酪農業賠償責任保険の加入について

生乳事故多発により、掛金が大幅

に増額されるが、保険期間の満了に伴い、継続加入を承認した。

○未収利息の免除について

公共団体等の未収利息免除を協議し、承認した。

○報告事項

定例監事監査の日程について、インターネットWeb研修会用動画紹介について、酪農全国基礎調査実施について、飼養衛生管理基準の改正について、和牛子牛集荷について報告した。

人 事

退職 (令和2年10月31日付)

中川 永盛(臨時)(南支所)

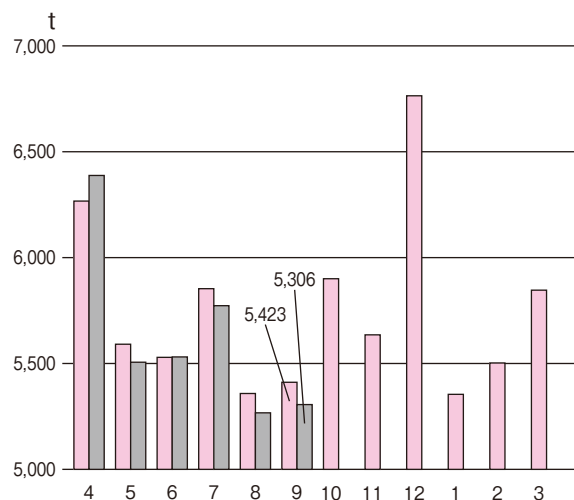
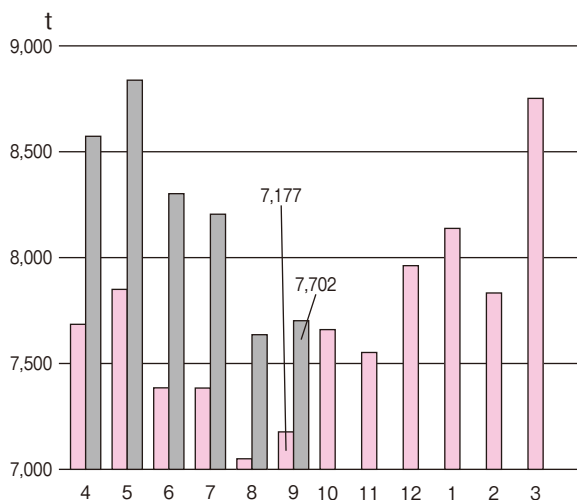
西大寺事務所

大変お世話になりました。



おからく事業実績

生乳販売量(令和2年度) 生乳販売量(令和元年度) 購買取扱数量(令和2年度) 購買取扱数量(令和元年度)



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	生産量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	生産	飲用乳	乳製品	その他
全国	9	560,178	328,920	97,103	134,155	101.4	101.9	105.0	97.4
	4~9	3,557,097	1,910,966	825,705	820,424	101.6	101.1	109.4	95.5
岡山県	9	7,681	7,567	38	76	107.2	108.2	46.3	82.6
	4~9	49,214	47,538	1,130	545	110.7	111.2	104.2	84.4
北海道	9	324,915	102,634	92,590	136,350	102.4	106.6	105.1	100.0



11月の主な行事

- 4日 定例監事監査(～5日)
- 6日 酪農事故防止研修会
- 14日 牛乳・乳製品利用料理コンクール
中国大会(岡山市)
- 24日 管理職会議
酪政連美作支部議員要請活動
- 26日 中国B&W会長・事務局長会議
- 12月
- 2日 理事会

北海道初妊牛価格

10月については、冬分娩に対して導入需要が増加する中、出回り頭数は小幅な増加に留まったことから、平均価格は72万8千円(前月比4万2千円高)と相場は強含みで推移しました。
11月については、下牧により出回り頭数は増加が予想されるものの、分娩時期は1月以降が中心となり堅調な需要が見込まれることから、相場は持ち合いで推移することが予測されます。